

第2回 丹波市まなびの里づくり協議会（摘録）

開催日時	令和5年3月3日（金）午後7時00分開会～午後9時05分閉会
開催場所	氷上住民センター 大会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>            岡田龍樹委員長、山内佳子副委員長、荒木伸雄委員、細見宏幸委員、            伏田雅子委員、増南文子委員、角悟委員、山本龍之委員、            中瀬まさ子委員、松井宣子委員、蔦木伸一郎委員、和田八壽夫委員、            松本佳則委員、久下悟委員</p> <p><b>【事務局】</b>            井尻宏幸まちづくり部長、福井誠まちづくり部次長、小島崇史市民活動課長、前            田大志地域協働係長、見田晋介生涯学習係長、堂本祥子人権啓発センター所長、            畑田久祐生涯学習推進員、足立大希生涯学習係員            足立勲教育部次長兼総務課長、山内邦彦社会教育・文化財課長、足立恵一社会教            育係長</p>
欠席者	<b>【委員】</b> 萬浪佳隆委員、酒井礼子委員、出町慎委員
傍聴者	1名
次 第	<p>1. 開会            2. 委員長あいさつ            3. 報告事項            (1) 令和4年度生涯学習アンケート結果について【資料①】            (2) 市生涯学習関連事業について（各課回答）【資料②】</p> <p>4. 協議事項            (1) 第1回協議会の振り返りについて【資料③】            (2) これまでの生涯学習支援と地域づくり支援について【資料④】            (3) グループワーク            テーマ「生涯学習を実践に生かす地域づくりの推進」            ① 地域のことや学校のことについて、どんな取組をしていますか？            ② なぜ、①の取組をしようと思ったのですか？            ③ 仲間を増やすためには、どうすればいいですか？            ④ キーマンとなる人ってどんな人ですか？</p>
資 料	<p>資料① 令和4年度 丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査結果につ            いて            資料② 丹波市生涯学習基本計画に基づく市の生涯学習関連事業に関する質            問事項            資料②-1 社会教育関連事業費の推移            資料③ 第1回協議会の振り返り            資料④ これまでの生涯学習支援と地域づくり支援について</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
事務局 委員長	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>皆様こんばんは、前回 10 月 13 日には、私の講話ということで、なかなか皆さんの意見を広く集めるということが出来ませんでした。今回は、グループワークで小さな輪になってご意見をいただきたいということで、井戸端会議のように顔を突き合わせて、思うところをそれぞれ語り合ってもらえるように設定しております。</p> <p>忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>何卒よろしくお願いを申し上げ、開会のごあいさつとさせていただきます。ますので、よろしくお願ひします。</p>
事務局 委員	<p>前回欠席の山内委員から自己紹介をお願いいたします。</p> <p>自己紹介</p>
事務局 委員長	<p>ここからの進行は委員長にお願いします。</p> <p>それでは、報告事項からですが、今回は公開ということになっています。本日傍聴の方も来られていますので、ご発言の際は、氏名を言ってから発言をお願いいたします。</p> <p>報告事項（1）令和 4 年度生涯学習アンケート結果について事務局からお願いいたします。</p>
事務局 市民活動課 長	<p>まず、1 点目の生涯学習アンケートですが、資料①をご覧ください。</p> <p>この調査は、平成 27 年度に策定いたしました、丹波市生涯学習基本計画に基づいて、その実現に向けた数値目標を設定しております。その調査のため、毎年実施しているものです。昨年 12 月に市民 1,000 人を対象とした、アンケートを実施しました。回答は 367 名の方にいただきました。（アンケート結果の報告）</p>
委員長	<p>事務局から報告がありました。何かご質問意見があればお願いいたします。（意見なし）</p> <p>最後の質問 28 の地域学校協働活動の認知についてはいつから調査されていますか？</p>
事務局 委員長	<p>本年度からです。</p> <p>前回との比較はないですね？社会教育においても地域学校協働活動というのが、トレンドになっていますが、然しながら如何せん学校を中心に進んでいる活動で、学校に関わっている方は目にするけれど、そうでない方はなかなか情報が届かない活動で、知らないという方が 74%いらっしゃるという結果になっています。これは、どの地域でも似たような数字です。地域の中で活動している人たちにとっては身近で切実な課題であります。一步学校の外へ出ると、こういう結果であるということ、この事業に関わる人たちは認識しておかなければいけないと思います。その他でご意見ありませんか？</p> <p>（意見なし）アンケート調査の報告については以上にして、（2）市生涯学習</p>

	<p>関連事業についての報告をお願いします。</p>
事務局	<p>第1回協議会でお渡ししておりました、市の生涯学習関連事業調査につきまして、時間の関係でこの件については、ご質問やご意見を後日お送りいただくこととしておりました。お手元の資料2に質問事項と回答をつけております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました、これについて、委員の皆様方からご質問ありませんでしょうか？</p>
委員	<p>事業評価についてA.B.C.Dの4段階の評価があると思います。いくつかの事業でA評価があったが、どうしてA評価なのか分からないところがあって、各部署で何に基づいての評価かおしえてほしい。特にA評価は期待した以上の成果があったという評価ですので具体的に示してほしい。</p>
事務局	<p>4段階の評価を実施しています。指標という細かいところまでは今回の資料ではお示しできておりません。各部署で当初期待した成果と結果で判断をしています。ご意見いただいたように今後わかりやすい資料の提供に努めたいと思います。</p>
委員	<p>アンケート結果で、市民の満足度が確認できたので、A評価とした。などの表記があればわかりやすい。</p>
委員長	<p>それぞれアンケートの取れたところと取れないところがあるわけですが、主観的な所もあるのかもしれませんが、よくやったという評価でこれ以上改善する必要はないとは、さすがに言わないので、もっとこうしたらいいというコメントが付いてくる。それが付いていてA評価というのがわかりにくい。何がよかって次にどういう設定をするのかが解れば納得できるのかなという感じがします。</p>
委員	<p>他にご質問等ございますか？</p>
事務局	<p>学習相談の質問で相談窓口は市民活動課に生涯学習推進員を配置していますとなっているが、市民プラザでも行っている。追加いただけたらと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘の通りです。役割としての考え方で回答しました。窓口としては、ご指摘の通り市民活動支援センターの方では、生涯学習活動、社会教育に関しても相談窓口を開設しておりますので追加させていただきます。</p>
委員	<p>丹波市の地域づくり交付金についての回答ですが、交付金については地域の一般財源の云々と書かれているのですが、地域づくり交付金要綱にこういった記述はなく、あくまで交付金対象事業に対して交付される理解しているが、回答がおかしくないですか。誤解を招く恐れがあると思います。</p>
事務局	<p>地域づくり交付金は、自治協議会に交付する交付金です。この交付金は、地域の一般財源として協議会で話し合われて、内容用途を決めてご使用いただいているものです。その活動内容につきましては、教育、環境、健康分野に関する事業をして下さいということでお支払いをしております。各自治会に補助する公民館活動補助金とは別の物です。ここで質問いただいているのは地域づくり交付金でして、地域の合意に基づいて実施されているものです。実施計画書、実績報告書で確認をしています。</p>
委員	<p>交付金要綱の中で第6条に規定される事業を行うものに交付されるもので、一般財源云々と書くのは誤解を招く。教育、環境、健康分野ということの記載</p>

	<p>はありますか？</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>交付金と補助金が混同しているご質問ではないですか？</p>
	<p>一旦整理します。地域づくり交付金につきましては元々地域づくり計画を策定してその計画に基づく事業に交付するというものでして、地域計画の中に教育、環境、健康分野に関する事業を盛り込んでいただく指導をしてまいりました。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>よろしいですか？他に質問はありませんか？</p>
	<p>一点だけ確認をさせていただきます。今回の意見をいただきました内容でございますが、意見書の公開ということについてこの場でご確認願って決定をいただきたい。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>この質問事項と回答を公開するという点についてよろしいでしょうか？ 逆にお聞きしますがこの内容でよろしいでしょうか？</p>
	<p>特に回答の部分をこれで公開していいですか？ 先ほどの久下委員さんの回答で的を得た回答になっているのか？ 全体を通してこの回答で各委員が合意できるのか疑問です。</p>
<p>委員長</p>	<p>パブコメのように一般の方が質問されたのを行政が回答するというものであればそれはそれでいいのだけれど、この協議会を通してこの回答を良としたということになれば協議会での合意がこの時間で取れるかどうか、一つ一つの回答についてもう少し吟味していく必要があるのではないかというご指摘だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私も質問していますが、質問の趣旨の内容と回答がズレているなという気がします。</p>
<p>委員長</p>	<p>質問の文章と回答の文章量の問題もあり Q&amp;A 方式みたいにどちらもコンパクトにまとめて公開していく方が読む方もわかりやすいのではないのでしょうか？</p>
	<p>ただ、定番の Q&amp;A という形に持つていくためには、もう少し整理が必要なのではないか？如何でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいまのご意見を踏まえて、質問された方と個別にお話をさせていただいて、内容をもう少し精査をしたうえで公開できるということであれば公開させていただくということでも今後調整の時間をいただくということでもよろしいでしょうか？</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それではもう一度調整願いたいと思います。 協議事項に入ります。</p>
	<p>第1回協議会では、事務局から、「生涯学習を実践に生かす地域づくりの推進」についてというお題を提示され、本協議会から意見をいただきたいということでした。私の講話も、「地域における社会教育の推進について」という内容でお話をさせていただきました。限られた時間の中でしたので、委員すべての皆さんからのご意見をいただくことができませんでしたが、本日は、この後にお時間をとってあるようですので、闊達な意見交換をお願いいたします。</p>

事務局	<p>事務局より説明をお願いします。</p> <p>(1) 第1回協議会の振り返りについて</p> <p>先程、委員長からもお話がございましたとおり、本年度と来年度の上旬にかけ、「生涯学習を実践に生かす地域づくりの推進」という内容で、本協議会でご意見を頂戴し、令和6年度の施策につなげるようにしたいと考えています。</p> <p>資料③ をご覧ください。</p> <p>第1回協議会の振り返りを簡単に報告します。</p> <p>委員長講話では、「地域における社会教育の推進」という内容でお話をお聞きし、国の社会教育政策や地域における社会教育の目指すものとして、社会教育を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりを学びと活動の好循環がまわることで実現することをお話いただきました。このことは、丹波市生涯学習基本計画の「まなびの輪」につながるものだと思います。</p> <p>さらに、文科省が力を入れていることとして、「学校と社会の連携」が挙げられ、コミュニティスクールと地域学校協働活動を基に地域づくりをしていくこと。学校の子どもたちを育てることに地域も関わって、一緒に地域づくりをやりましょう という方針であることをお聞きしました。地域の皆さんの学びを学校運営を通じた地域づくりへ役立てることで、地域に愛着を持った子どもたちを地域ぐるみ育てていくことが大切あるという内容だったと思います。</p> <p>そして、その講話の後には、委員皆さんからご意見をいただいています。すべての意見を記載しておりませんが、この後行いますグループでの話し合いにキーとなるものを中心に取り上げました。</p> <p>特に、・大人の学び・若者の学び・地域と学校・後継者・地域づくりの手段としての地域学校協働活動・ビジョンをみんなで共有し、みんなで考えるといったキーワードがありました。</p> <p>引き続き(2) これまでの生涯学習支援と地域づくり支援について</p> <p>次に、丹波市に合併してきてから今日までの生涯学習支援と地域づくり支援について、組織の変遷とともに説明いたします。</p> <p>資料④をご覧ください。</p> <p>市制施行後、平成19年度に、小学校区単位に自治協議会を設置し、「健康、環境、教育のテーマで地域づくり事業が始まりました。市の体制は、この時は、教育委員会に社会教育課と中央公民館があり、首長部局には、地域づくりを所管する心の合併室や地域に近いところで業務を行う支所に地域振興課を置き、地域づくり活動の支援を行っていました。</p> <p>平成23年度には、教育委員会事務の補助執行が始まり、首長部局にまちづくり部生涯学習センターを設置。支所には地域づくり推進係と生涯学習係が置かれていました。</p> <p>平成26年度に生涯学習基本計画を策定、翌27年度年には計画実行のために、人づくりと地域づくりを行う市民活動課としてスタートしています。</p> <p>その後、市民の生涯学習活動や市民活動、地域づくり活動を伴走しながら支援する市民活動支援センターを令和元年度に設置しました。</p> <p>令和2年度には、各支所の地域づくり推進係が廃止され、支所に配置されて</p>
-----	--

<p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>いたまちづくり指導員も令和3年度に廃止になっています。</p> <p>こうした中、令和元年度には、丹波市まちづくりビジョンで示した「住み慣れた地域に住み続ける」方向性と目指すべき自治協議会の姿を示した「自治協議会のあり方懇話会」が開催され、そこから見えてきた地域の課題や行政の課題が示されました。</p> <p>そして、令和4年度から、自治協議会の組織の見直しや事業の棚卸し、話し合いの場づくりなど、自治協議会の意思決定に基づいて重点的に支援を行う体制をつくりました。</p> <p>次に、これまでの丹波市の社会教育推進体制の変遷と中央教育審議会資料から、これからの目指す姿についてご提案します。</p> <p>資料は本日追加でお渡しした資料をご覧ください。</p> <p>平成19年度以前は、旧町からの公民館体制を引き継ぎ、中央館と分館がありました。地域における社会教育の推進も、旧町単位に設置された公民館で実施されました。しかし、公民館の廃止に伴い、地域、特に旧町単位での社会教育の推進が仕組みとして、しづらくなつたと思います。</p> <p>一方で、国においては、中央教育審議会が「地域づくりを支える社会教育の実現」が大切であると示しており、公民館等が地域における生涯学習や社会教育を实践する拠点施設として、地域の学びと実践のプラットフォームとしての機能を有することを期待しています。</p> <p>そして、その拠点施設で行われる様々な生涯学習、社会教育活動は地域づくりにつながるものとして、重要であり、地域づくりのツールとして、地域と学校の連携・協働を推進するものとしています。</p> <p>先程申し上げましたように、丹波市においては、旧町単位の公民館が廃止されておりますので、プラットフォームとしては、小学校区ごとに設置された自治協議会や自治振興会において取組まれることが有用ではないかと考えています。</p> <p>人口減少を伴った少子高齢化社会にあつて、10年後、20年後の地域の未来を考える。自分たちの地域は、老若男女問わず、企業やNPO、サークルのような市民団体など、地域を構成する多様な主体が参画し、話し合いによって解決していくという、話し合いの文化の醸成や人材を育てていくことが求められていると考えています。まさしくこのことが、地域づくりを支える社会教育なのではないかと思つています。</p> <p>少し長い説明となりましたが、この後、「生涯学習を实践に生かす地域づくりの推進」として、皆さんからご意見をお伺いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございます。この後、グループワークを行います。ここまでの事務局の説明に対してご意見のある方はございますか？</p> <p>これからの地域における社会教育というところで、現状では、地域学校協働活動に対して、学校からも自治協からも予算がなく、自分たちで予算を捻出していますが、今後は、地域学校協働活動を実施している組織に自治協議会からも資金的な応援が頂けるのか？</p>
----------------------	--

委員長	<p>これからの方向性というところでご意見いただきました。事務局としてどうですか。</p>
事務局	<p>活動を行う上で、市が出来ること、あるいは自治協議会として、やっていたら良いなということ、そこに関わっていない方たちも、どうしたらいいのかということを議論していただき意見をまとめて施策の方に返していきたいと考えております。</p>
委員長	<p>他にありませんか</p>
委員	<p>地域学校協働活動や「生涯学習を实践に生かす地域づくり」を推進していくためには、行政のリーダーシップが大切です。教育委員会の社会教育・文化財課、学校教育課、首長部局のまちづくり部市民活動課の連携はもちろんのこと、社会教育を支える図書館、美術館、博物館などの社会教育施設や市民プラザの連携が必要だと思います。</p>
委員長	<p>地域における社会教育の推進で、コミスクについては校長のリーダーシップが大きい。学校管理職がこの事業の重要性を認識して、地域の力を取り入れたら学校が良くなるという思いを持っているかどうかで、ずいぶん違ってくる。</p> <p>一方で、地域の側からどんなことが言えるだろうか、その際に地域の教育、社会教育施設の連携を視野に入れると社会教育らしい意見となるだろう。そういうことを含めた意見がこれからのスタートだと思います。</p> <p>よろしいでしょうか？それでは、グループワークの進め方について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(3) グループワーク</p>
足立大希	<p>テーマ「生涯学習を实践に生かす地域づくりの推進」</p> <p>① 地域のことや学校のことについて、どんな取組をしていますか？</p> <p>② なぜ、①の取組をしようと思ったのですか？</p> <p>③ 仲間を増やすためには、どうすればいいですか？</p> <p>④ キーマンとなる人ってどんな人ですか？</p> <p>項目ごとに時間は分けませんので、全体 30 分間程度でお話いただきたいと思います。</p> <p>それぞれのグループには事務局が一人ずつ入りますので、内容の記録をさせていただきます。</p> <p>時間が来ましたら、各グループの話し合われた内容を代表の方の発表により共有をしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>(グループワーク)</p>
事務局	<p>それでは各グループで話し合われた内容を発表してもらいます。</p>
委員	<p>何分いただけますか？</p>
事務局	<p>5分程度でお願いいたします。</p>
委員	<p>Cグループです。自己紹介兼ねてどんな取組みをしていますかということ、お話をしました。皆さん色々な取組みをされています。例えば、既に地域学校協働活動をしていますよという方とか、過去にコミュニティ活動推進員をされていて、今も通信制大学で勉強されているとか、あとは、子供たちとも</p>

	<p>かかわりながら地域と未来考える活動をしていたり、高齢者学級を運営されている中で、これからの自分たちに必要なことをアンケートを取ってパソコン・スマホ教室を開催することになり、それが、非常に反響が良いというお話がありました。学校にお勤めの方もいらっしゃるってその学校で取り組まれているコミスクについて詳しく説明頂き、ふるさと学の取り組みについて伺いました。生涯学習は分かりにくく、捉え方は、人によって違う。定義づけみたいなのが示せたら、アンケートの数値も変わるのではないかと。アンケートの回答が圧倒的に若い人が少ない。若い人が地域に参加していくためにはどうしたらいいか、若い人が意見を言いづらい環境があるというお話も出ました。キーマンになる人は、誰かに気軽に声をかけつつ引っ張っていける人。行動力のある人。人を育てる意識をもって取り組むようになってくると地域が変わってくる。社会教育士がどんな活動をしているのかという質問もありました。</p>
委員	<p>Bグループです。子供たちとの関わりの話を中心となった。通学支援、子育て支援、図書館での支援など、そんな取り組みをやっている。または、やろうとしている。というお話が出ました。今、子供たちを見ていて、コミュニケーションが取れない子。友達との間の付き合いが出来ていない子。多いとは言えないが一割程度いるのではないかと思う。それに対して私たちに何が出来るだろうという取り組みから活動が始まっている。見守りが中心です。一人ではできない。仲間を増やすことが必要だということですが、個人情報をごくまで共有するかということが課題で仲間が増やせない。キーマンになる人は自分の思ったこと、やりたいことを発信できる人、自分のことをさらけ出していく人、発信力のある人、子供たちとのコミュニケーション力がある人が必要だろうという話が出ました。</p>
委員	<p>Aグループです。色々な取り組みをされている方がありました。地域の役員、自治協議会の推進員、俳句を通じて学校と関わっている。なぜ取り組みをしようと思ったかでは、地域の歴史や良さを知ってほしい。地域に関心を持ってほしい。コーディネーターが必要。仲間を増やすためには、自治協議会等に、権限を持った人が、コミスク関わる方が良い。地域と学校を結ぶ必要がある。親が入ってこないとだめだが、地域に無関心なのかという話も出た。キーマンになる人は、地域コミュニティ活動推進員とか、歴史の詳しい人、地域のことを知っている人、地域活動のリーダーなどが出た。大人から子供へという目線だけでなく、子供の知識を大人が学ぶということも考えていく必要がある。という話が出ました。</p>
委員長	<p>共通した点では、キーマンという人はどんな人か、向かっていこうとしていることを（コミュニティスクール、地域学校協働活動、今地域に置かれている状態）を理解している人。聞かれて答えられる人が必要。もう一度勉強するスタイルがあちこちにあってもいいと思う。そのようなことを学んだ人がキーマンになってくれれば良いなと思います。最後に、大人から子供へ伝達すると思いがちだが、その事もあるが、子供から大人が学ぶという双方向性の話は昔から社会教育で言われている話で、双方向性ということを考える。Aグループでも話し合いましたが、学校の中に地域の人が入っていく。また、学校が地域に出</p>



<p>事務局 委員長</p>	<p>ていくのも必要で、双方向の学びが出来ればいいのかなということです。それをコーディネートする人がキーマン。発想を変えて、もう少しこうすれば双方向性が出てくるし、自分たちに閉じられていた活動が、ちょっと門を開いて関わっていきける。そんなアイデアを出せる人がいると新しい活動が出来るのではないか。当然コミュニケーション力というのも求められる。</p> <p>子どものコミュニケーション力が無くなっているという問題も、対話のツールを考えることでうまくいくのでは、世代間を超えて SNS で繋がるとき、俳句の 5.7.5 で言うようにしたらどうでしょう、日本の言葉の根幹を学んでいけて、親が子供を叱るときに 5.7.5 で叱かったりすると、ちょっと面白かったり、子供がそれに反応すると対話もスムーズにいくみたいに、ちょっと発想を転換して、面白がってやっていくうちにコミュニケーション力が付いてくるそんな展開が続いていくのかなと感じました。以上感想です。</p> <p>ありがとうございました。以上で、グループワークを終了します。</p> <p>本日は、大変貴重なご意見をたくさん出していただきました。次回の協議会では、本日のご意見をまとめ、市に対して提言するところまでできればと思います。ありがとうございました。全体を通して何かご質問はありますか。</p> <p>無いようですので、事務局より今後のスケジュールについて説明をお願いします。</p>
<p>事務局  委員 事務局  委員 事務局 委員 委員長 副委員長</p>	<p>新年度 4 月に生涯学習関連事業調査を実施します。また、今回沢山のご意見をいただきました。これを、市の取り組みの方へ反映したいと考えておりますので、何人かの委員さんで、小委員会制という形で進めさせていただけないかなと思っています。6 月くらいに全体会を開催させていただいてさらに意見を深めていってもらって、それをまとめて、必要な予算に計上していくような形にしていきたいと思っていますが、いかがでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>小委員会に入っていていただく委員さんを事務局で推薦させてもらっていいですか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>3 名の委員の方をお願いします。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、閉会の挨拶を山内副委員長にお願いします。</p> <p>皆さまお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございました。</p> <p>個人的な感想になりますが、グループワークにより、ざっくばらんにいろんなお話が出来まして、とても楽しかったです。ありがとうございました。</p> <p>それでは、第 2 回の丹波市まなびの里づくり協議会を閉会します。</p>